

# 公共事業評価に関する検討会議及び 市民意見を踏まえた市の対応方針

事前評価 2	太刀浦第2コンテナターミナル コンテナクレーン更新事業
--------	--------------------------------

北九州市  
令和2年2月

公共事業評価に関する検討会議及び市民意見を踏まえた市の対応方針  
(対象事業：太刀浦第2コンテナターミナルコンテナクレーン更新事業)

【対応方針】

計画どおり実施

【対応方針決定の理由】

コンテナターミナルは、コンテナクレーン（以下「クレーン」という）を用いて、コンテナ船による海上輸送とトラックなどの陸上輸送の積み替えをおこなっており、市民の生活を支える物流基盤となっている。

太刀浦第2コンテナターミナルは市全体の3分の1のコンテナを取り扱う重要な港湾施設であるが、クレーンは設置後31年から27年を経過しており老朽化が著しく、安全性の低下による事故や設備故障が懸念されている。

また、近年はコンテナターミナル供用開始時に比べ入港船舶が大型化しているため、現状に合ったクレーンの規格に見直しを行う必要がある。

以上の経緯や課題を踏まえ、入港船舶の大型化に合わせたクレーンの規格に見直しを行い、利用者への安全な設備の提供と安定した物流サービスの提供のため、クレーン更新事業の実施を対応方針案として決定した。

今回の公共事業評価に関する検討会議では、本事業を計画どおり進めていくことについて、出席した全ての構成員が「異論はない」との意見であった。ただし、具体的な事業の推進にあたって、留意すべき点が意見として挙げられた。

続いて、これらの留意点を踏まえた市の対応方針案について市民意見を募集したが、意見の提出はなかった。

以上より、本事業は「計画どおり実施」することとし、先の留意点を踏まえて事業の推進に努める。

○公共事業評価に関する検討会議における留意点とその対応：資料2

○市民意見の募集結果：資料3

**公共事業評価に関する検討会議における留意点とその対応**  
**(対象事業：太刀浦第2コンテナターミナルコンテナクレーン更新事業)**

	公共事業評価に関する 検討会議での意見	市の対応方針（案）
<p><b>(1) 更新の必要性について</b></p>	<p>現設備の老朽化及び市民生活を支える物流基盤としての必要性を鑑み、この事業を進めるべき。</p> <p>加えて、入港船舶の大型化に応じたクレーンの規格に見直し、更なる利用促進を図ること。</p> <p>また、クレーン3基体制の必要性をより分かりやすく示すべきである。</p>	<p>利用者への安全かつ安定した設備を提供するため、クレーンの更新を行い、あわせて大型化を図ることで、太刀浦第2コンテナターミナルの利用促進に取り組んでいく。</p> <p>クレーン3基体制の必要性がより明確となるよう、評価調書において、3基クレーンの稼働状況等についてデータを補足する。</p>
<p><b>(2) 更新中の受け入れ対策について</b></p>	<p>更新中は、稼働クレーンが2基体制となるため、この間に荷主が離れないように十分な対策を取ること。</p>	<p>今後、設計にあたっては、ターミナル運営への影響が最小限にとどまるよう工法等を検討する。</p> <p>また、利用者に対しては、丁寧な説明のもと、理解を得ながら調整を図ることとしており、必要な対策を講じて、更新中の円滑な運用に努めたい。</p>
<p><b>(3) ひびきコンテナターミナルの活用について</b></p>	<p>北九州港全体の利用促進を図るため、各コンテナターミナルの連携という視点から、ひびきコンテナターミナルの更なる活用を検討していただきたい。</p>	<p>ひびきコンテナターミナルは、利用企業や貨物の構成等で、太刀浦コンテナターミナルとは異なる特長を有し、その特性にあった創貨・集荷に努めている。</p> <p>今後、両ターミナルの情報共有を図るとともに、ひびきコンテナターミナルにおいても、背後地への企業進出を促しながら、荷主企業への働きかけや新規航路の誘致などの取組を進めることで取扱量の拡大を図り、北九州港全体としての利用促進に努めていきたい。</p>

太刀浦第2コンテナターミナルコンテナクレーン更新事業における  
事業概要及び市の対応方針（案）に関する市民意見の募集結果について

■意見募集期間

令和元年12月25日（水）から令和2年1月24日（金）まで

■意見提出状況

意見提出なし